



広報しまだ

Shimada



目次 — CONTENTS —

- 2 特集：フィルムサポート島田
- 8 島田大祭（其の二）
- 10 市政あらかると
- 12 しまだ情報
- 19 小規模特認校（伊久美小）
- 20 ゆめ・みらい百人会議
- 24 平成26年度 新入園児募集
- 26 まちの話だい
- 28 けんこうナビ（9月）
- 33 9月は環境衛生月間です
- 34 文化課通信
- 35 第56回 島田髻まつり
- 36 友好のかけはし
- 37 図書館だより
- 38 暮らしのシグナル
- 39 スポーツ INFO
- 40 便利帳／彩りもう一品
- 42 掲示板／みんなのひろば
- 44 しまだ人：諸田平八さん

表紙 — COVER STORY —

映画やドラマを彩る故郷の景色は、未来を担う子どもたちの思い出が詰まったタイムカプセルです。



ロケ撮影の誘致を ボランティアで支援

映画やテレビなどの撮影場所（ロケーション／以下「ロケ」）を誘致し、撮影が円滑に進むように無償（ボランティア）で支援する組織を「フィルム・コミッション」と呼びます。

1940年代にアメリカで誕生したフィルム・コミッションは、経済や文化そして観光や定住といった面で、ロケ撮影を地域の活性化につなげることを目的としています。

フィルム・コミッションが、自分たちが住むまちでのロケ撮影を誘致することで、映画やドラマのエンドロール（End Credits）に撮影地が揭示されます。国内外の多くの観客や視聴者が、目にした素晴らしい景色



地域の魅力を発信し 地域の資源を再認識

や素敵な街並みと、撮影地を関連づけることで、まちの知名度やイメージの向上が期待できます。しかしこれは、直接的に得られる効果の一部にすぎません。

間接的な効果として、ロケ隊（時にはエキストラ）が滞在中に支払う飲食代や宿泊代が挙げられます。また、協力作品が話題になれば「ロケ地めぐり」として、多くの観光客が撮影地を訪れるきっかけとなり、持続的な経済効果が広がります。

そして何より、自分たちが住むまちが、スクリーンや画面に登場することで、地域が持つ魅力を再認識で

Film Support

資源は人、モノ、文化、歴史 ロケ撮影で地域を活性化する

「あの名作の名場面は、島田市内のロケだよ」
その言葉が秘めている、地域活性化のチカラ。
地域の魅力を外に発信し、内に再認識させる。

地域力



一人でも多くの人に 島田市を愛して欲しい

日本で初めてフィルム・コミッションが誕生したのは平成12年。以後、全国各地で設立され、当市でも平成18年に島田商工会議所青年部の活動のひとつとして「フィルムサポート島田」を立ち上げました。

フィルムサポート島田は「ロケ撮影支援が島田市を全国にPRする良い手段と考え、この地域の名前と魅力を全国に発信し、一人でも多くの人にこの地域を愛してほしい」という願いから設立されました。

名作は島田市から

地域の魅力を発信する「フィルムサポート島田」の取り組み

全国そして世界へ

ロケ撮影支援100作品突破

「フィルムサポート島田」は、島田商工会議所の青年部を経て、平成20年に同会議所運営の委員会となり、より一層その活動の幅を広げています。ロケ撮影の誘致は、島田市の知名度を向上させ、経済的な波及効果をもたらします。しかしそれ以上に、市民の皆さんが、映画やテレビに映し出された島田市を目にすることで、地域の魅力を再発見し、郷土に愛と誇りを持つきっかけとなることを信じています。それは、活気ある島田市への「応援」でもあります。

21人の運営委員は、全員がボランティア。それでも、全国一のフィルム・コミッションを目指し「おもてなしの心」を忘れずに、エキストラ登録数1万人を目指して奮闘しています。

Voice



フィルムサポート島田
運営委員長
おちあい ともみ
落合 睦美さん

【取材協力】

NHK-BS プレミアム「零戦～搭乗員たちが見つめた太平洋戦争」



Film Support

場所、時代、そして天候を創る
 全ては物語を観る人のために

舞台裏



普段は見ることのできないテレビドラマの撮影。
 今回は、特別に一日密着取材が許された。

特別番組の中で放送されるドラマの撮影には、
 東京から約40人のロケ隊と役者が来島。

そして、フィルムサポートの登録エキストラが
 約30人加わり、市内での撮影が始まった。

(ロケ地／(株)北河製品所)



1シーンごとに、映像と音声を
 念にチェック。何度でも撮り直す。

カメラに写らない部分で、多くの
 スタッフが手際良く仕事をこなす。



「太陽待ち」これだけは、
 監督でもどうにもならない。



右ページ:エキストラの「ハンザイ」。手の平の角度にまでこだわる。／右:必要ならば雨も降らせる。水圧やノズルを微調整して、映像に最適な雨粒を作る。／下:時代設定に合った衣装を試着。靴下など、見えない部分も手を抜かない。／左:シーンのつながりを、それぞれの担当の目でもチェック。



感動を創造するのは 役割を全うする職人技

ドラマの舞台は昭和17から20年。太平洋戦争の栄光と悲劇の象徴である「零戦」の軌跡をたどる物語です。市内でのロケ撮影は4日間。その間の1日だけでも、約40人のロケ隊と約30人のエキストラが、撮影現場に集まりました。

ひとつのドラマを完成させるまでには、多くのスタッフが関わり、舞台上で演じる役者を支えるため、それぞれの役割を「職人技」で果たしています。監督やプロデューサーはもちろん、カメラマンや照明、そして音声や美術のプロがいなければ、美しい映像や音を記録することはできません。

また、メイクや衣装を担当する人は、エキストラと直接関わるプロたちです。監督のイメージに合わせて化粧を施し、登場人物の個性を外見で表現したり、時代背景と矛盾しない服装や小道具を用意したりすることは、ドラマのメッセージや完成度を左右します。

そして、ロケ撮影に欠かせないのが、制作進行の担当者です。機材の運搬から弁当や宿泊先の手配、通行人の整理や晴天時に雨まで降らせる、ドラマ撮影の「縁の下の力持ち」です。フィルム・コミッションを通して、ロケ地やエキストラの手配をする役目も担っています。

Voice

映像プロダクション 制作部 ふじかわ けいぞう 藤川佳三さん

フィルムサポート島田の皆さんは、本当に親身になって情報提供や撮影支援をしてくれます。古い建物や茶畑、大井川やSLなど、地域の特徴に幅があるので、ロケ撮影の可能性が広がります。



Interview

エキストラ にしざわ だいじょう 西澤大城さん(身成)

まだ1年目ですが、もう5回ほど出演しました。撮影風景や出演者との遭遇など、毎日が貴重な体験です。地元の見どころも、再発見できました。島田市でロケが行われていることは、誇りです。





右：ロケの進行状況を確認する運営委員。／左：島田市のPRはここから。エキストラとのコミュニケーションを欠かさない。／下：撮影を終え、思わず笑顔がこぼれるエキストラの皆さん。



Film Support



このまちが好きだから頑張れる 地域を思う心に人々が再び集う

ロケ撮影支援は、市民の誰もが参加できる、島田市への応援活動。フィルムサポート島田の運営委員は、全員が有志で参加している。原動力は「一人でも多くの人に、故郷を愛してほしい」という思いだ。



郷土愛

Interview

エキストラ おりかさ けいこ 折笠 圭子さん(愛知県小牧市)
他のフィルム・コミッションにも登録していますが、島田の皆さんが一番と言っているほど、親切でフレンドリーです。エキストラへの説明も丁寧で、プライベートでも島田市を訪れてしまいました。



Interview

エキストラ おかだ ともみ 岡田 朋臣さん(静岡市駿河区)
島田市でのロケ撮影は、もう10回目。ボランティアスタッフの皆さんがとても親切で、出演者と分け隔てなく気遣ってくれるので、ここに来るのが毎回楽しみです。まだまだ参加したいですね。

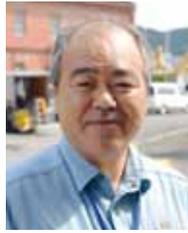


フィルムサポート島田 ^{もりた しげる} 森田 茂 さん

ロケ内容の変更にも、できる限り対応していますが、エキストラに気持ちよく出演してもらい、次につながることを第一です。皆さんもボランティアであることを忘れずに、目と気を配っています。


 フィルムサポート島田 ^{はせがわ ひろぶ} 長谷川 広亘 さん

うちの強みは、エキストラの動員力。だから、人とのつながりという財産を大切にしています。遠方の人は、島田を口コミで発信してくれますし、地元の皆さんは、心強い情報網になってくれます。


 現場に溢れる笑顔が
島田市の土産になる

それぞれが本業を持つ、フィルムサポート島田の運営委員。しかし、仕事の合間を縫って、多くの委員が現場に駆け付けます。

制作会社からの依頼は、撮影地の交渉だけではありません。エキストラの募集をはじめ、駐車場の確保や道路使用などの各種申請、控室の準備や放水ポンプの用意・運転まで、撮影を円滑に進めるために、制作進行をあらゆる角度から支援します。

そして、フィルムサポート島田が最も大切に行っているのが「エキストラの笑顔」です。市外からも駆け付けてくれるエキストラ。島田市の印象は現場の対応で決まってしまう。だから運営委員は、エキストラの体調に目を配りながらも、孤立しないように話し掛け、場を和ませる努力を怠りません。島田市を訪れてくれた誰にも「いいまちだった」と土産話を持ち帰ってもらいたい。地元を思う郷土愛が、そうした奉仕の源なのです。


 訪れた人々と触れ合い
地域の魅力を再発見

撮影支援した作品は、100作品を突破。市内にはロケ地として優れた資源が多くある証拠でもあります。フィルムサポート島田の取り組みは、

ロケを通して島田市の資源を再認識してもらい、人と人のつながりを基盤とした地域活性化の大きなチカラとなっています。

【主な協力作品】

撮影年月	種別	作品名
H18・6	映画	黄色い涙
H19・3	映画	母へえ
3	映画	ALLMS 続三丁目の夕日
5	映画	少林少女
11	映画	まぼろしの邪馬台国
H20・6	映画	20世紀少年
H21・5	映画	ゼロの焦点
7	映画	FLOWERS
H22・1	TV	ゲゲゲの女房
10	映画	百合子、ダスヴィーターニヤ
H23・2	TV	三・一・一
H24・6	映画	少年H


 百間は一見にしかず
参加して地域を活性化

フィルムサポート島田が派遣したエキストラは4000人を超え、エキストラ登録者数は3000人を達成しました。あなたもエキストラ登録をして、島田市の魅力を再発見しませんか。登録方法など詳しくは、フィルムサポート島田にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



QRコード

④フィルムサポート島田（島田商工会議所） ☎37・7155

☞ <http://www.shimada-cci.or.jp/fss/>

市内ロケ撮影100作品目

 「少年H」
全国東宝系にて公開中


© 2013「少年H」製作委員会

▼昨年6月に撮影協力した映画「少年H」が、全国東宝系劇場で公開中です。本作品は、北河製所や大鐵新金谷駅など、市内数カ所にてロケ撮影。約80人のエキストラの皆さんが、参加しました。

ストーリー／昭和初期神戸。洋服の仕立屋を営み、家族を暖かく見守る父・盛夫。大きな愛で家族を包む母親・敏子。そんな二人のもと、好奇心旺盛に育つHこと肇。そして妹・好子。幸せに暮らしていた4人だったが「戦争」という激流の渦に巻き込まれながらも、勇氣、信念、愛情をもって生き抜いた「名もなき家族」の
 眞実の物語。
 出演／水谷豊、伊藤蘭、吉岡竜輝、花田優里音ほか

